



公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集水木 一弘
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

《年頭のごあいさつ》

会長 横田 浩



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年、2020年オリンピックの東京開催決定に沸いた1年でありました。一方で、福島原発事故の收拾策が未だに見えずにいる中で、「汚染水の状況はコントロールされている」と国際社会にアピールした安倍首相発言に首を傾げた会員も多かったのではないのでしょうか。いずれにしても早急な解決を望みます。

今年は午年です、“正午”と言うように前半から後半に向かう分岐点となります。これまでの原発事故対応の下降線を解決して上向きとし、颯爽と駆け抜けて問題解決となる事を切に望むところです。

昨年は、本会においても記念すべき年でありました。平成20年に法人格の新たな制度が導入されてから、中澤前会長の下で公益法人化を目指してまいりましたが、昨年4月、県からの認可を受けて公益社団法人として登記するに到りました。さらに、創立65周年に当たる節目の年でもありましたので、二重の喜びでありました。

今年は、当県が関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催県となります。北関東と南関東の一都九県の技師会で持ち回り開催しておりますこの大会を「放射線技術の進化・新化・深化」をテーマに、6月28日（土）と29日（日）の2日間、つくば市の国際会議場（エポカルつくば）で開催致します。実行委員一同、知恵を絞って有意義な大会となるよう企画しておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、本会は今年も「チーム医療」についての様々な施策を進めて参ります。2010年4月の厚生労働省医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」に基づいた、読影の補助に関する講習会を年に2回のペースで開催し好評を得ましたので、今後も継続して放射線技師に必要な読影力について考えてまいります。また、放射線検査等に関する説明と相談の参考資料に関して、日本診療放射線技師会ホームページに「放射線検査説明・相談促進委員会報告書」が掲載されました。全ての放射線検査に関する標準的な説明と質問対策、検査説明に関するガイドランが掲載されておりますので、参考にして頂ければと思います。

日放技との共催事業としては、春のフレッシューズセミナー、秋のレントゲン週間イベント、さらに各部門の基礎講習等を計画しております。引き続き安全で安心な放射線技術の提供と質の高い医療技術の提供に向け、日放技と一体となって取り組んでまいります。

今年も、会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、皆様方のご要望に答えられるような活動を展開し、より良い地方技師会活動を展開していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2014年1月元旦



《 開 催 報 告 》

1. 放射線検査のための手話講習会報告

日時：平成 25 年 8 月 1 日 18：30～

場所：水戸済生会総合病院

参加者：21 名（会員 16 名 非会員 5 名）

聴覚障害の種類と対応方法の違いについてろう講師よりお話があり、続いて簡単な手話を練習しました。後半は参加者が技師役と聴覚障害者役になり胸部 X 線撮影を想定して実技を行いました。なかなか思うように伝わらず、苦戦する様子に会場がわきました。手話はできなくてもよいから、視線を合わせること、マスクを外し口元を見せることはぜひお願いしたいとのことでした。（報告者 中野）



2. 第 6 回茨城放射線腫瘍研究会学術講演会報告

平成 25 年 9 月 14 日（土）つくば国際会議場。今回は要望演題「線量測定」「有害事象対策」一般演題、教育セミナーの講演を行いました。「線量測定」では、昨年吸収線量の標準測定法が変更になり、施設間で互いに線量計を持参し、相互校正による結果報告等施設で参考になる内容の発表でした。看護師からは「有害事象対策（皮膚炎）」についての発表がありました。教育セミナーは「中性子補足療法（BNCT）の進捗と今後の展望」について。参加者数 120 名（内会員 27 名）。（報告者井村）



3. 平成 24 年度 CT 研究会開催報告

日時：平成 25 年 9 月 17 日 19：00～

場所：ホテル・テラス・ザ・スクエア日立

参加人数：63 名、会員 45 名、非会員 18 名

内容：「64 列 CT SCENARIA の特徴を活かした臨床応用」というテーマで、日立メディコの

青木祐子先生には開発する立場から、日立総合病院の宮下祐一先生には臨床使用の立場から発表していただきました。

茨城県立中央病院の檜山貴志先生には、「救急現場での CT 読影」というテーマでのご講演。救急診療に携わる一員として機能するためには、「診療放射線技師は読影の補助」であり「画像診断」ではないという立場を理解しつつ、病態に関する知識や画像を作成する技術が必要不可欠であると再認識した。（報告者鈴木）



4. 第 5 回乳腺研究会開催報告

平成 25 年 10 月 12 日（土）茨城県立医療大学において第 5 回乳腺研究会を開催しました。

参加者：32 名（うち会員 24 名）

内容：昨年実施したアンケート調査『茨城県内の精度管理・撮影線量の実際』の結果報告。技術情報提供として、デジタルマンモグラフィ撮影装置 LORAD Selenia Dimensions について、（株）日立メディコの落合是紀さんに、また日立総合病院の奥山寿恵さんにはその使用経験についてご講演いただきました。教育講演では、筑波大学附属病院乳腺・甲状腺・内分泌外科の坂東裕子先生に『最新の乳がん診断・治療の実際』についてご講演いただきました。乳がんの診断に必要な検査の内容や、その検査結果を基にどのような治療がなされていくか、とてもわかりやすく解説していただきました。（報告者 宮田）



5. 聴覚障害者に関する講習会報告

日時：平成 25 年 10 月 20 日（日）13 時～
場所：水戸済生会総合病院健診センター
参加者：23 名（会員 15 名、一般 8 名）

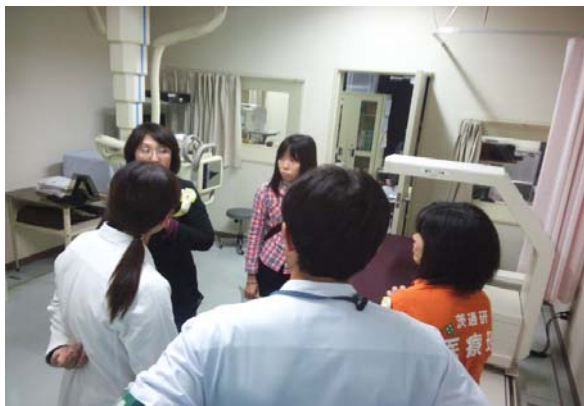
茨城県手話通訳問題研究会の市野澤講師より、コミュニケーション方法や対応時の注意点の講演。次に聴覚障害を持つ講師から、聴覚障害があるとはどういうことか、最近経験した人間ドック上部消化管検査での感想など、具体的なお話を伺った。

聴覚障害者は、私たちが想像する以上に医療の場で不安をもっているということ、筆談でも単語書きなどわかりやすく書く必要があること、手話通訳制度を知らない聴覚障害者もいるので同行を勧めて欲しいとのこと。

6. 放射線科見学・交流会報告

日時：平成 25 年 10 月 20 日（日）14 時～16 時
場所：水戸済生会総合病院健診センター
参加者：34 名（技師 15 名、一般 19 名うち聴覚障害者 9 名、通訳 4 名）

今年度はじめて人間ドック施設で開催した。施設見学後に、胸部、上部消化管撮影、マンモグラフィ、腹部超音波の体験後、全体で意見交換を行った。コミュニケーションツールや身振りを使って、検査を体験して頂いた。年々コミュニケーション方法が良くなっている、検査前の説明に工夫が欲しい等の意見がでた。（報告者中野）



7. 平成 25 年度第 1 回読影の補助に関する講習会報告

平成 25 年 11 月 2 日に茨城県立医療大学において、第 1 回「読影の補助に関する講習会」を行いました。参加者は 93 名（会員：63 名、非会員 11 名、学生 19 名）
講師として東京医科大学茨城医療センターの齋田晃彦先生に「救急医療における画像診断」、

茨城県立医療大学付属病院の中山智博先生に「小児医療における画像診断」と題して講演をしていただきました。

次回は平成 26 年 2 月頃に予定しています。



8. 放射線展開催報告

茨城県診療放射線技師会では 2013 年 11 月 3 日にショッピングモール「イーアスつくば」において放射線展を開催しました。当日は天候にも恵まれ多くの買い物客でにぎわう中、「診療放射線技師のことがわかる本」・「放射線検査被ばく Q&A」等のパンフレットの配布やポスター展示などに加え、パソコン画面上に放射線発見の歴史と乳房検査の資料を表示し、来場者に説明を行いました。医療被ばく相談コーナーにもエックス線検査の被ばくに不安のある人の相談が寄せられましたが、福島原発事故の放射線影響に関する質問が多く、回答に困る場面もありました。200 個の風船も閉展の頃には無くなり、盛況のうちに終了しました。（報告者 坂井朋夫）



9. 第 17 回常陸水戸画像診断研究会報告

平成 25 年 11 月 16 日（土）14：00～水戸医療センターにて開催しました。
参加者 36 名（会員 11 名、医師 9 名、他 16 名）

症例報告 3 例、320 列 CT の使用経験、脊髄動脈瘻の画像紹介があり、特別企画「新技術発表」ということで東芝社 320 列 ADCT の紹介と日立アロカ社製超音波装置の話があった。特別講演は国立がん研究センター放射線診断科医長 女屋博昭先生による「肝胆膵領域の画像診断:コンサルテーションから学ぶこと」であった。先生からはたくさんの症例の紹介のほか、がん診療画像レファレンスデータベースの紹介もあった。



10. 放射線測定器動作確認会開催報告

平成 25 年 11 月 24 日に、県立医療大学で開催しました。今回は 12 施設の参加があり、各施設の電離箱式サーベイメータを持ち寄り、県立医療大学の先生のご協力のもと、実習により正しい計測方法や放射線測定器の使用方法を確認することができました。線量測定は 1 年以内にチェックをした測定器で行う事とされており、放射線測定器の取り扱いを再確認できる良い機会となりました。また、管理士部会では、現在メーリングリストを作成中ですので放射線管理士の方は、アドレス yhirano@times.hosp.tsukuba.ac.jp までご連絡ください。管理士部会 平野雄二



《 お 知 ら せ 》

1. 第 95 回超音波研究会

日時：平成 26 年 1 月 24 日（金）18:30～20:00
会場：水戸済生会総合病院 丹野ホール
参加費：会員 500 円、非会員 1,000 円
内容：「これだけは知って欲しい腹部超音波検査のあれとこれ」他

2. 第 3 回乳腺研修会

日時：平成 26 年 2 月 1 日（土）14:00～
会場：東京医科大学茨城医療センター
医療・福祉研究センター 2 階
定員：20 名程度（要事前申込）
参加費：会員 500 円 非会員 1,000 円
申込先：ibaraki.mmg@gmail.com
筑波大学附属病院 放射線部 宮田まで

3. 平成 25 年度 第 2 回 MR 研究会

日時：平成 26 年 2 月 7 日（金）18:30～20:45
場所：つくば国際会議場 小会議室 303
参加費：会員：500 円、非会員 1,000 円
内容：『ESUR ガドリニウム造影剤と NSF』、『ちょっとだけ fMRI の世界を覗いてみよう！』他

4. 日本消化器がん検診学会 第 2 回茨城セミナーのご案内

日時：平成 26 年 2 月 23 日（日曜日）
会場：つくば国際会議場 大会議室 102
詳細は：東京医科大学茨城医療センター
増田光一、e-mail:k-m@tokyo-med.ac.jp

《 会 員 動 向 》

1. 現在の会員数…………… 686 名

2. 入 会

山上 雄大 茨城西南医療センター病院
藤田 元春 ㈱日立製作所日立総合病院
遠藤 詩織 ㈱日立製作所ひたちなか総合病院
尚、入会手続きをしても入金されない会員にはなっておりません。3 名おります。

3. 65 周年記念会員名簿の表示追加と訂正

*追加①中村 修 筑波国際大学
〒300-0051 土浦市真鍋 6-20-1
電話・・・029-826-6000（代表）

*訂正

①正 黒澤 孝幸
誤 黒澤 孝雄

※大変申し訳ございませんでした。
訂正いたしましてお詫び申し上げます。